

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業用)

事務事業名		担当部課	部課コード	120300	2998-9377
事業コード	120301	北野下富線道路築造事業		計画道路整備課	
開始年度	6	年度	終了年度	35	年度
グループ			庶務・用地・工務		

事業の概要	事業の種類	土地利用	土木建設	建築	補助	単独	単年度	複数年度
	根拠法令	道路法、都市計画法						
	分野別計画・指針	所沢市街づくり基本方針(幹線道路)						
	関連・類似事業	松葉道北岩岡線道路築造事業(当課)、所沢村山線道路築造事業(当課)						
	総合計画の体系	章	街づくり	節	道路	基本方針	道路計画の推進を図ります	
事業開始の背景・目的(どのような経緯で、どのような効果を目指して実施しているのか)	平成4年度の都市交通整備計画において市街地全体を外郭する環状道路として位置付け、市内道路の交通渋滞緩和を図るものである。国道463号バイパス小手指ヶ原交差点から県道所沢堀兼狭山線下富駿河台までの延長5,500m、幅員18mの道路の整備を行う。							

事業の内容	事業の内容・実施方法(最終的にどのような状態を生み出そうとしているのか、そのためにどのような方法・手段を用いるのか)								
	幹線道路の環状型ネットワークを図り、交通渋滞の緩和を図る。								
	事業開始後の環境変化(人口や需要量見込み等の社会経済情勢の変化、自然環境の変化等)とそれに対する対応								
	土地価格の変動。これに合わせて事業期間や事業費など適切に対応している。								
事業費概要(千円)	事業開始時の総事業費予定額	13,350,532	事業の進捗率	平成28年度の事業内容及び平成29年度以降に予定している事業内容の概要					
	事業費累計(平成27年度まで)	8,755,853	66%	都市計画道路松葉道北岩岡線からラク所沢前の市道3-5号線までの延長470m(1工区)、国道463号小手指陸橋北交差点から北中公園西側の市道3-575号線までの延長260m(2工区)、市道3-575号線から県道所沢狭山線までの延長862m(3工区)を整備区間として建設を進めており、平成28年度は第2工区の開通を予定している。平成29年度以降も引き続き用地取得と工事を施工し、早期の供用開始を図るもので、1工区は平成29年度末を、3工区は平成31年度末の開通を目指している。					
	平成28年度実施計画における事業費	平成28年度	860,743						72%
		平成29年度	1,014,750						80%
		平成30年度	684,000						85%
現時点での総事業費予定額	13,350,532	平成	年度終了予定						

経費	会計種別	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	予算現額		461,689	288,586	860,743	
	決算(見込み含む)		461,260	240,030		
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(人)	(人)	(人)	(人)	
	正規職員人件費	2.50人	21,803	2.45人	21,217	
	事業費合計		483,063	261,247		
	財源内訳	一般財源	61,692	21,907	46,353	
国・県支出金	145,071	24,040	19,690			
その他(地方債、都市計画税)	276,300	215,300	794,700			

成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標
	成果指標	市道3-5号線及び県道川越所沢線の交通量	台	目標値			1割削減
	実績			2,944	3,012	<input type="checkbox"/> 「実績」拡大図る <input checked="" type="checkbox"/> 「実績」縮小図る	
	目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率		どちらかをチェックしてください
成果指標設定理由・目標値の考え方	全線開通して成果が現れるが、暫定措置として松葉道北岩岡線と1工区の同時開通により交通渋滞の緩和を図るため上記箇所に設置する。年1回測定、測定日平成27年7月8日、県道川越所沢線 朝)川越方面474台、所沢方面368台、夕)川越方面420台、所沢方面400台、市道3-5号線 朝)狭山方面331台、所沢方面351台、夕)狭山方面276台、所沢方面392台。 朝)AM7:30~8:30、夕)PM5:30~6:30						

評価	事業計画見直しの必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要あり	理由及び今後の方向性 本路線は市街地を外郭する外環状道路であるため、全線開通により交通渋滞の緩和に大きく寄与する事業であることから重点的に整備を進めている。さらに整備効果を発現するため、残りの未整備区間を早期事業化して都市計画道路のネットワークを構築するものである。事業期間や事業費など未整備区間の事業化や財政事情等に応じて見直しを行う。
	総事業費見直しの必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要あり (<input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了) <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし	上記評価の理由
	評価日	H28.8.10	評価者職氏名

環境影響	有益な環境影響	1-1地球温暖化の防止	4-1大気汚染の防止	有害な環境影響を及ぼす原因活動	緑の減少 都市計画道路の整備	規制を受ける環境法令等	有
						緊急事態	有